



こんにちは

村田けい子

です

2016.12.02
No.79

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。
発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868

「今年は雪に恵まれますように。事故のないように」 —女神湖・2in1・国際スキー場— 冬山の安全を祈って、厳かに

ま
ち
の
話
題



〈晩秋の女神湖〉

お酒と御供物を
ささげ、安全を
祈願する。



<2in1スキー場>
ゲレンデに少しの雪。11月
早めの雪もその後の雨で
溶けてしまった。



<国際スキー場>すでに
幼児用のスキースクール
ユニットが設備されていた。



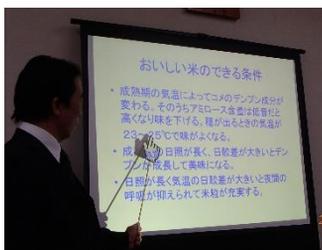
ふれあい牧場の閉鎖式で、
馬頭観音前でお礼の儀式。
お酒・塩を撒いて、感謝の
気持ちを表す。

11/30(水)冬山の安全を願って祈願祭・山開きが行われ、多くの関係者の列席の下、盛大に行われました。昨年は暖冬で、スキー客の入れ込みが落ち込み、大幅な赤字となっただけに、今年はことのほか、「雪が降ってほしい」という思いが切実です。町長はご挨拶の中で「国際スキー場が50周年、2in1が40周年の記念の年なので、今回初めて13万人の誘客という目標を立てました」(例年は12万人ほど)と語り、スキー場の賑わいに期待をかけていました。厳しい冷え込みがあれば、スノーマシンで雪を作ることができスキー客を呼び込めます。今年はぜひ、スキー場に大勢お客さんが来てほしいと祈ってきました。



宮坂先生を講師に「地層から見る立科の歴史」を学ぶ。町ごと「道の博物館に」 —新風27の学習会で—

新人議員の会(新風27)の学習会で宮坂晃教育長より、立科町の成り立ちを地層から読み解く講義を受けました。冒頭に、「なぜ立科のお米は美味しいのか」と問い、①穂が出るときの気温が23~25度と最適 ②一日の気温の差が大きく糖度が上がる。③内陸性の気候で降水量が少なく日照時間が長く光合成がしっかりできること。などと科学的に説明。また、シンシュウゾウやナウマンゾウ、武田信玄も通ったなど、古来より交通の要衝として重要な位置にあったことが、様々な遺跡、遺物よりうかがえることなど立科町の特殊性・重要な位置を教えてくださいました。「多くの町民に知ってもらおう」と改めて町の歴史に目を開かれ、魅力を発信していこうと元気が出ました。



おいしい米のできる条件

- 成熟期の気温によって2Mのデンプン含量が変わる。そのうちアミロース含量は稲害に高くなり味を下げる。暑が出るような気候が23℃前後で味がよくなる。
- 成長期の日照が長く、日温差が大きいとデンプンが充実して美味になる。
- 日照が長く気温の日较差が大きいと夜間の呼吸が抑えられて米粒が充実する。



岩に龍が。

今週のパチリ

蟹原のYさん宅の庭にあるこの大岩。雨が降るとなんと“黒い龍”が浮かび上がる。もう一つの岩にも、同じような模様があるという。この不思議な岩を神の岩として祀ったというのも、「なるほど」と得心する。自然のなせる業だが、本当に不思議な龍の出現である。

